変動金利適用に関する特約規定

借主は、金銭消費貸借契約(以下「原契約」という)に基づいて借り入れた「三十三銀行リフォームローン(居住不能信用費用保険付)」の利率及び返済方法等について、下記の通り特約します。

記

第1条(借入利率変更)

原契約証書の借入要項に定めた借入利率は、銀行の定める住宅ローン基準金利を基準利率として、基準利率の変動に応じ引き上げまたは引き下げられることに同意します。

但し、金融情勢の変化、その他相当の事由により住宅ローン基準金利が廃止された場合には、銀行の住宅ローン基準金利に代え、一般に相当と認められる金利を基準利率とすることに同意します。

第2条(新借入利率とその適用日)

1.借入利率の引き上げ幅または引き下げ幅の算出は、毎年4月1日及び10月1日(以下「基準日」という)に行うものとし、前回基準日における基準利率(借入日が前回基準日以降の場合は、借入日現在の基準利率)と現基準日における基準利率の差をもって借入利率を引き上げまたは引き下げるものとします。

2.前項により借入利率を変更する場合、変更後の借入利率の適用開始日は次の通りとします。

(1)半年ごとに増額返済を併用しない場合

基準日が4月1日の場合は、基準日の属する年の6月の約定返済日の翌日とし、7月の約定返済日から、新利率適用による返済が始まるものとします。

(2)半年ごとに増額返済を併用する場合

各基準日以降、最初に到来する増額返済日の翌日とします。

3.本条により利率が変更された場合、銀行は原則として変更後第

1回の約定返済日までに変更後の利率、返済額に占める元金及び利息の割合等を文書等により通知するものとします。

第3条(毎回返済額の変更)

1.第2条により、新借入利率が適用されても、借入後5回目の10月1日の基準日を経過した第2条の2の適用日までは、毎回返済額は、利率変更前と同一とします。ただし、毎回返済額の内訳である元金、利息の額は変わります。

2.借入後5回目の10月1日の基準日において、銀行は新借入利率、残存元金、残存借入期間などについて新しい毎回返済額を定めるものとし、それに従い、借主は、後記3項の支払開始のときより支払います。ただし、新しい毎回返済額は変更前の毎回返済額の1.25倍を超えないものとします。

3.前記2項の新しい毎回返済額の支払いは第2条の2項の適用日以降最初に到来する返済日から開始します。

4.前記2項並びに3項は、毎年10月1日での10回目の基準日における借入利率、並びに毎回返済額の変更についても適用するものとし、15回目以後も同様とします。

第4条(未払利息の取扱い)

1.借入利率が引き上げられ、支払うべき利息が所定の毎回返済額を超える場合は、その超過額(以下未払利息といいます)を新借入利率適用による初回の返済日の次回以降の返済日に毎回返済額の中に入れて支払うものとし、その充当順序は未払利息、その回の利息、元金の順とします。

2.前項の取扱いについては、毎月返済部分と半年ごと増額返済部分とは別に行うものとします。

3.借主が原契約証書に基づいて繰り上げ返済をする場合に未払利息があるときは、繰り上げ返済日にそれを支払うものとします。

第5条(最終返済額)

最終返済額は毎回返済額にかかわらず、残存元金額とその利息に未払利息を加えた金額とします。

第6条(固定金利への変更)

借主は、今後本借入の金利を固定金利に変更しないものとします。

第7条(繰り上げ返済)

原契約証書に基づいて借り入れたローンの全部を以下の条項にしたがって期限前に繰り上げて返済できるものとします。

- 1.期限前に繰り上げ返済できる日は、原契約証書の借入要項に定める毎月の返済日とします。
- 2.繰り上げ返済により上記未払利息がある場合には、繰り上げ返済日に支払うものとします。

以 上